

全国の店舗にある4万5,000台のストアコンピュータとPOSレジの状態を可視化。異常な処理を検知して対応できる体制を整え、セキュリティをさらに強化



LAWSON

株式会社ローソン

業種
小売業

従業員数
連結10,648人（2023年2月末）

本社所在地
東京都品川区

導入製品
Tanium Core, Threat Response

Taniumの導入効果

- ・ 全国の約1万5,000店舗に配置したデジタル端末の状態を可視化
- ・ パフォーマンスに影響を与えることなく、端末の処理をすべて追跡し、より安全な環境を整備
- ・ 万が一何か発生した際にも、すばやく対応できる体制に
- ・ お客様に安心して利用いただける安全な店舗づくりに貢献

株式会社ローソン（以下、ローソン）は、店舗システムの状態の監視にTaniumを活用。全国約1万5,000店舗で使用している4万5,000端末にTaniumを導入し、外部ネットワークとの異常な通信を検知して、すばやく対策を取る体制を整えることで、セキュリティレベルを大幅に向上することができた。今後はアプリケーション配信など、さらなるTaniumの活用を検討している。

“気がついた時には遅かった”を防止するために

ローソンは、設立50周年にあたる2025年に向けて策定した「Challenge 2025」において、事業方針である3つの約束「圧倒的な美味しさ」「人への優しさ」「地球（マチ）への優しさ」を軸に、さまざまな取り組みを実施している。

1日に来店されるお客様は1,000万人以上で、そのお客様との接点となるのは、全国47都道府県に出店する約15,000を数えるローソン店舗である。アルバイトを含めた従業員数は17万人を超え、それら多くの人たちがPOS端末とストアコンピュータに触れる機会があり、店舗システムを中心とするセキュアなデジタル環境に接している。

ITソリューション本部店舗システム部部長の青木 辰夫氏は、「店舗システムは、外部連携でアクセスする先は、基本的に安全な場所に設定していますが、そのアクセス先が仕様変更で外部サービスを組み込むようなこともないとは言えない状況です。そして約4万5,000台あるPOS



レジとストアコンピュータのうち1台でも攻撃にあえば、すべての店舗への影響が懸念されるため、昨今の脅威の状況を考慮すると安心はできません」と話す。

「“気がついた時には遅かった”ということにならないように、もしものことがあっても対応できる体制を整えたいと考えました」と青木氏は語る。

ITソリューション本部 店舗システム部 部長 青木 辰夫氏

Taniumを導入したことで、日々状況を監視することができるようになり、店舗のセキュリティを大きく向上させることができました

ITソリューション本部 店舗システム部
部長 青木 辰夫氏

そこで、オフィスで活用していたTaniumを店舗でも導入することを決定した。

「店舗数が拡大すると同時に、脅威にさらされるリスクも増えますが、Taniumがあれば、すばやく広範囲に状況を確認できます。いつ、どこで、どの端末で、どんな処理をして、どこへアクセスしたのかがわかれば、その処理を実行した機能を止めることもできますし、アクセス先を監査することもできます」(同氏)



ITソリューション本部 店舗システム部 渡邊 英幸氏

ストアコンピュータとPOSレジの通信と状態を可視化

セキュリティを担保するために必要な機能と、店舗の業務やお客様の印象に大きく関わることになるパフォーマンスへの影響を見定め、Tanium導入に向けた設計、構築、検証を実施。パイロット展開を経て、2022年3月に全国の店舗への展開を開始し、約3ヶ月で約15,000店舗に展開した。

ITソリューション本部店舗システム部の渡邊 英幸氏は、「ストアコンピュータの通信すべてを可視化したことで、外部との通信の全体像を即時に認識することが可能になりました。今まで見えていなかったものがすぐに見えるようになったのは、Tanium導入の大きな成果でした」と話す。

一方、日々大量のトランザクションが発生するPOSレジへの導入は、セキュリティの向上に加えて、お客様の印象や業務に直結するPOSレジの動作やパフォーマンスへの影響を極小化する必要がある。そのため入念に検証し、お客様の利用や店舗業務に影響を与えないことを確認した上で、展開を実施。運用はPOSシステム全体をコーディネートしてくれているパートナー企業にTaniumの管理を委託し、すべての処理をチェックして、異常が認められた場合はアラートを上げて報告してもらおうフローを整えた。

青木氏は、「すべての端末を常時監視するには多大なコストがかかるため、簡単には実現できませんでしたが、Taniumを導入したことで、日々状況を監視することができるようになり、店舗のセキュリティを大きく向上させることができました。店舗数の増加に伴い端末も増えていく中で、異常があればアラートを検知し、レポートも上がってくる体制を整えられたことで、安心感につながりました」と話す。

インシデントが発生しても、それをすばやく検知して、重大な事象になれば個店の機器単位で切り離しができるようになったことは、大きなメリットとなった。

セキュリティの枠を超えてさらなる活用へ

ローソンでは、端末の監視に使用しているTaniumをさらに活用することも視野に入れている。現在配信には別の仕組みを使用しているが、アプリケーション等の配信もTaniumで行うことで、4万台を超える端末へのデータ配信や更新作業もTaniumに統合することができる。これにより業務を効率化し、コストを削減することが可能になる。

さらに将来的には、店舗システム刷新の時期などを見計らい、最適なタイミングでTaniumの活用範囲を広げ、お客様に安心・安全をお届けするために、セキュリティをさらに強化していく方針だ。

お問い合わせ



タニウム合同会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6-4 常盤橋タワー25階

 <https://www.tanium.jp>
 jpmarketing@tanium.com